

総務経済常任委員会活動レポート

開催日時：令和6年10月2日(水)

開催場所：1・2号委員会室

● 9月定例会提出議案審査

9月定例会提出の議案を審査し、担当部局から個別の案件ごとに説明を受け、質疑、協議、申し入れなどを行いました。また、定例会議案以外の案件も説明を受けました。

総務部

1. 定額減税調整給付金について

【主な質疑】

委員：新規給付対象者100名へのお知らせはどのような対応になっていますか？

担当：給付対象者は4000人で、マイナンバーの公金受取口座登録済みの約2500人は給付までプッシュ式で対応し、既に給付済みとなっています。残りの1500人は、確認書を送付し返送により給付の処理を行っています。新規給付対象者は、プッシュ式の対応にはなっていません。

経済部

1. 町営牧場の施設災害復旧工事について

【主な質疑】

委員：町営牧場の災害状況、復旧内容を説明してください。

担当：開陽台牧場の傾斜が多い牧場内の通路に、最高160cm程の深さでえぐられたり、穴があいたりと大小の土砂流出が見られました。作業はグレーダ等で職員により実施し、現在は車両が通れるようになっています。

建設水道部

1. 下水汚泥発酵乾燥施設復旧工事について

【主な質疑】

委員：処理施設の火災原因が不明な中、整備内容をどのように決めましたか？

担当：消防の指導のもと、建設コンサルタントが現地確認し、この原状復帰と24時間対応の監視カメラの設置を決めました。

委員：初期消火設備として、火災報知器やスプリンクラーの設置は検討しましたか？

担当：スプリンクラー設置には莫大な費用がかかり、基本的には不特定多数の人がいる場所ではないこと、人がいる時間帯には 11 カ所にある消火器で対応可能なことから、今回は原状復帰の方向で進めます。

委員：当初事業債で復旧整備を行い、共済でどのぐらい補填できそうですか？

担当：実際に復旧工事が終了し金額が確定しない事には、共済の金額もわからない状況です。

2. 道路災害復旧事業について

【主な質疑】

委員：災害の状況や工事内容を説明してください。

担当：13 路線で未舗装道路の路肩や法面の崩壊が発生しています。工事請負費 850 万円は災害箇所 13 路線分で、工事内容は砂利補充や法面の復旧となります。また、原材料費 500 万円は、流出した砂利補充に充てるための砂利費用で、グレーダで直せるところは自前で整備しています。

定例会議案以外について説明

1. し尿・浄化槽汚泥処理の住民説明について

今後周辺住民への説明会を行い理解を得たうえで、周辺環境の保全を考慮し整備等を実施するとの説明を受けました。

2. 東中団地の目的外使用について

計根別地域で(株)明治の北海道根釧地区新工場の建設が本格的に開始しましたが、本町および近隣市町の宿泊施設等では、工事関係者の宿舍が確保できないことが課題となっています。

現在、東中団地の建替事業により政策空家となっている町営住宅について、法律に基づく承認「公営住宅の地域対応活用計画」を受けて、令和 6 年 10 月からの 1 年間、工事関係者の宿舍として活用するとの説明を受けました。

【主な質疑】

委員：使用料が安くありませんか？

担当：国の承認により貸し出す際は近傍の家賃以下などの制約がある点、また部屋の整備をせずに現状のまま貸し出すことから適正価格と判断しています。